

言の葉を紡ぎながら

こんにちは。または、初めまして。創作文芸を中心に活動するサークル、『雪待終夜』の鈴響 雪冬です。今でこそサークル雪待終夜で活動していますが、元々は友人と結成した雪解け水に所属していました。この雪解け水、結成が二〇〇二年二月十一なので、明確に同人活動を始めた日から今日で丁度五周年。ということに、今、文章を書きながら気がつきました。おめでとー。

とまあ、こんな感じで、行き当たりばったりな私ですが、今後ともよろしく願っています。

今回は『洋菓子専門店ショコラに訪れた幾つかのバレンタインの物語』という長つたらしいタイトルの本を高崎に初めて持ち込むこととなりました。バレンタイン本ですが、年中イベントに持ち込むので、気になった方は次のイベントで声を掛けてみて下さい。本の紹介については、裏面(?)に晴れの舞台を用意してありますので、そちらをご覧ください。

半ば去年の目標だった短編作品もこうして完成したので、長編小説 ReSin-ens の執筆を再開しようと思っています。今年中にはお約束出来ませんが、勢いのあるうちに書ききってしまいたいものです。

さて、同人生二回目の同じイベントへの連続参加となりましたが、今回は少しばかり間が開きそうでもしかしたら一年以上開いてしまうかも知れません。きつと忘れた頃にやってくると思いますので、その時はまたよろしく願っています。

作品紹介

短編・短編集

洋菓子専門店ショコラに訪れた幾つかのバレンタインの物語 [200円：A5・50P・レーザー（表紙黒単色）]

恋い焦がれる男と、恋破れそうな女。洋菓子専門店ショコラに訪れた幾つかの物語は、バレンタインを境にどうなるのだろうか。紙の都合上、表紙の印刷が剥がれやすいかも知れません

中編

巫女のスゝメ [250円：A5・68P・レーザー（表紙4C・^{インクジェット}IJ）：合同誌]

時も場所も違う二つの神社に、二組の巫女がいた。仲の良い家族三人で小さいながらも神社を切り盛りする巫女達と、巫女という立場にありながら神の存在を問う巫女。

立場も環境も違えど、四人は全員巫女。彼女たちはその小さな胸に何を思い、何を抛り所にして生きているのだろうか。

恋の from A to Z [100円：B5・48P・レーザー（表紙黒単色）]

五組の男女がいた。友達、恋人、夫婦、それぞれの関係は違うけど、考えていることはみんな同じだった。貴方のことが好き。from A to Z。それは、始まりから終わりまでの意味。五人の主人公が紡ぐ「恋の始まりから終わりまで」の26の物語は最後はどこへ辿り着くのだろうか。

長編

光になりたい ～上巻～ [300円：B5・64P・レーザー（表紙4C・IJ）]

光になりたい ～下巻～ [250円：B5・80P・レーザー（表紙4C・IJ）]

聡のクラスに少女が転入してきた。目が見えないだけのその子は、普通の人だった。その証拠に転校して幾日か過ぎると、彼女はクラスに馴染んでいた。

そんな時、彼女は「同じ部活の子が苛められている」と、聡とその友人に相談を持ちかけた。どうしてもその子を救いたいという彼女のために、聡達は立ち上がることになった。由梨絵と薫、そして聡達を中心に、お互いに支え合い成長していく。そんな中、聡は自分の気持ちに気が付きつつあった。

ReSin-ens 遼なる風、彩りの音、降りしきる雪 [550円：A5・202P・レーザー（表紙4C・IJ）]

氷結した時間を背負って生きる少年と少女の前に、一人の女が現れた。他人が疎ましいと思っていた二人はその女を無視しようとしたが、気が付いたら心を許してしまっていた。

他人という『存在』から、より密接な『関係』になる時、三人はどこへ向かうのだろうか。

